

目標実現に向け、着実かつ果敢に取り組む

登米市長 布施孝尚

明けましておめでとうございます。市民皆さまにおかれましては、平成28年の輝かしい新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

昨年4月、登米市誕生から10周年という大きな節目を迎えました。この間、東日本大震災をはじめ、さまざまな苦難に直面することもありました。しかし、市民皆さまのお力添えにより、今日を迎えていることに、感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年は2月に市政施行10周年を記念して、市民皆さまに広く親しまれ、さらなる一体感を醸成するため市民歌を制定し、6月に開催した10周年記念式典の席上で披露いたしました。今後永く愛され、地域の行事などで歌い継いでいただきたいと思っております。

9月には、平成28年度から37年度までを計画期間とする

「第二次登米市総合計画」を策定し、人口減少の克服とともに、本市の持続的な発展のために最も効果が期待できる方策を重点戦略として位置付け「少子化」「健康長寿」「雇用」「定住」「魅力向上・交流」の五つの項目に重点的に取り組んでいきます。

また、この重点戦略を基本とする「登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を10月に策定しました。人口減少や少子高齢化の急速な進行への対応は、本市の喫緊の課題です。子どもを安心して産み育て、健やかに成長できる環境づくり。高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らすことのできる仕組みづくり。そして、農産物などの豊富な地域資源の活用や企業誘致などの産業振興を総合的に推進する体制づくりが重要となります。

大きな社会構造の変化へ柔軟に対応し、活力のあるまちを持続できるよう、市民の皆

さまと一丸となって進めていきたいと考えています。

また、環太平洋経済連携協定(TPP)が交渉参加国の関係閣僚会合で大筋合意されました。今後、協定が発効されると、幅広い品目で段階的に関税が削減、撤廃されます。市としては、今後示される国のTPP関連の具体的な農林水産業対策の内容を踏まえ、意欲ある農業者が希望を持って従事できるよう、積極的な支援を検討していきます。

平成28年は、登米市の新たな10年に向けたスタートの年です。総合計画の将来像である「あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ」の実現を目指し、着実かつ果敢に市政運営に取り組んでいきます。

結びに、本年が皆さまにとって健やかで実り多い年となりますようご祈念申し上げます。年頭のあいさついたします。

誰もが安心して暮らせるまちづくりへ

登米市議会議長 沼倉利光

明けましておめでとうございます。皆さまには、輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

年頭にあたり、議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年4月、上沼高校、米山高校、米谷工業高校の3校と登米高校の商業科が統合し、登米総合産業高校が開校しました。「学科の枠を超えて、地域と一緒に、特色ある教育活動で、産業スペシャリストを育てる」という素晴らしい教育理念の下に、登米市の未来を支える多くの人材が巣立つことを心より祈念しています。

さて、安倍首相は昨年「アベノミクスは第2ステージに移る」と宣言し、新たな「3本の矢」を発表しました。しかし「旧3本の矢」の一つである成長戦略は、今なお道半ばと評されています。市内の商工業者からは「いまだその微風さ

えも吹いていない」との声を聞きます。

また、政府は昨年、TPP交渉での国会決議に違反して、大筋合意をしました。農業を基幹産業とする本市にとって、農家の不安は募るばかりです。登米市は今年、合併12年目を迎えます。昨年9月、今後10年間のまちづくりを見据えて「第二次登米市総合計画」が策定されました。これに基づき、最重要課題である人口減少を克服し「少子化、健康長寿、雇用、定住、魅力向上・交流」の五つの重点項目に取り組み、本市の持続的な発展を切望するものです。

議会では、昨年1月に通年議会制を導入しました。会期を通年にしたことで、議会の判断で会議を開けます。緊急を要する事態への迅速な対応や、行政に対するチェック機能を十分に発揮できるようにになりました。休会中でも委員会活動ができることから、市

民との意見交換など、より主体的、機動的に活動を展開し、その使命を果たしていきます。

また昨年3月、庁舎建設に関する調査特別委員会を設置しました。新庁舎建設の是非も含め、十二分に協議し、結論を出していきます。

現在、議会資料のペーパーレス化や経費の削減、情報の提供・収集の迅速化などに向けて、タブレット端末の導入を検討しています。今後とも、さまざまな形で議会改革を推進していきます。

本年は、市長、議員の任期の最終年度となります。市民の皆さまが、安心して暮らせるまちづくりにまい進できるよう、議会一丸となってその責務を果たしていく所存です。

結びに、市民の皆さまのご健勝を心からご祈念申し上げますとともに、本市議会に対しましてなお一層のご提言、ご鞭撻をお願い申し上げます。年頭のあいさついたします。

迎春

2016年頭のあいさつ

沼倉利光 議長
Toshimitsu Numakura

布施孝尚 市長
Takahisa Fuse